

第24回 経営フォーラム 2017 in Nagasaki

覚悟!

自分への覚悟! 未来への覚悟!
あきらめない覚悟!

開催日: 2017年10月13日(金) 会場: 長崎口イヤルチェスターホテル

経営フォーラムニュース



テーマ

「経営者の本気の覚悟!」
～すべては、ここから始まる～

記念講演



講師(株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛氏
(神奈川同友会 理事)

拝啓 社長さん
あなたは何です

●記念講演報告

報告者 全体会 部会長 金田 昭子

湯澤さんは、「借金40億を返済した私の仕事術」という本の著者ですが、神奈川同友会に所属されています。突然のお父様の死によって(株)湯佐和33店舗の飲食中心の会社を承継されました。なんと会社の現状を調べてみると40億の借金。どうやって返済してきたのか解りやすくお話しくださいました。

知った時に恐怖を感じて本気で経営の覚悟を決めました。経営をする以上、何かが起きるのは当たり前と、心構えを変え「一点突破・全面展開」、イメージにとらわれずに理詰りで考える、成功体験も再現可能な形に整理していくことで解りやすく社員に共育をしていく。社員と1対1の関係を作ることで、揺るぎない信頼関係を築く。

自分自身が本当に変わらなければと変革のための1000日計画を作ってはみたものの、また早く楽になりたい、借金返済優先に戻ってしまう。それでも変わらなければいけない、よい会社をつくらうと同友会で学び、何の為に経営するのかを考え、「人が輝き 地域を照らし 幸せの和を拡げます」この企業理念にたどりつきました。最後に「2020年ユサワビジョン」として大きな木の絵に描かれた壮大なビジョンを見せてもらいました。



いつもスローガンで唱和している同友会の目的を、改めて深く感じさせていただきました。今後も湯澤さんの書をバイブルとし、よい経営者を目指していこうと思います。

幸せ軸経営のススメ

～業績軸でもがいた中から見つかった幸せ軸経営～

株式会社 ウインプランツ 代表取締役会長 古里 久則 氏
WORKING WITH JOY 株式会社 / 社長
Win Plans World Ltd. (長崎浦上支部)

報告者
長崎浦上支部 松本 一孝

報告者の古里さんは、美容業が好きではありましたが粗利の高い商売をたく美容業を選択しました。一時期はIPOも考えるほど、売上、利益、店舗数が増えていきました。しかし、心休まらず、楽しくなかった。ただお金が入ってくるだけだった。貧困の家庭環境で育ったから、お金に執着した。満たそう、満たそうとしてきた。結果、2年間で32人のスタッフをやめていきました。業績だけを求めて、突っ走ってきた。店長の給料は月100万を超えている人もいた。ただ、給料という条件で入ると給料という条件で人は辞めていく。人間の幸福とは人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること、4つ。そして人に褒められ、役に立ち、必要とされることは仕事で手に入り、必要とされるような人はきつと愛されるのではないのでしょうか。真の幸福は働くこと、人間にとつ



て生きるとは、必要とされて働き自立することだと、同友会の学びの中で気がつき、実行してきます。結果平成28年度ながさき女性活躍推進企業等表彰を受賞。育休を28名(65%)の方が取得、働きやすい環境とスタッフを大切に社風に成長しました。会社の標語は「いつもキラキラ」磨き磨き自分を磨き、仕事を通して心と技を磨き、正しいことは美しい、美しいことは正しい。是非、DVDを見てください。多くの学びがあります。最幸の報告でした。

大いに盛り上がり、学びを深めた3つの分科会！

No Wall Village

～夢の実現で閉鎖的な壁を取り払え～

新栄総業 株式会社 代表取締役 伊藤 弘和 氏
南陽産業 株式会社
有限会社 いろは本店 (長崎出島支部)



報告者
長崎出島支部 菅原 千代枝

22歳という若さで起業した伊藤さん。中村こずえさんの報告を聞き、自分のできる事をしたいと、お弁当の分野で障がい者雇用をスタートさせました。人の役に立ちたい...との思いが強い伊藤さんは障がい者の働きやすい職場づくりをし、健常者、障がい者の壁のない世界を独自につくりあげています。障がい者の方のある目標から実現へ。実現できたのは、健常者の方の「丁寧なら、できる、できる」の温かい言葉。人と人が認め合い、お互いの信頼から成り立つ



何気ない会話。そんな温かい職場の雰囲気をつくりあげたのは伊藤さん自身です。伊藤さんは若いころ、自分の気持ちやうまくコントロールできず、悩んでいた時期がありました。だからこそその本質的な気持ちや分かれ、伊藤さんの何でも受け入れてくれるような人柄に惹かれていく方が多いのではないかと思います。障がい者雇用はできないと決めつけているのが健常者、それこそ壁だということも強く学びました。できる事とできない事があるのはみんな一緒。だからこそ想いを共有して、一緒に考える。それが社員の成長につながる、チームワークも出来上がっています。

伊藤さんのNo Wall Villageは限りなく広がっています。今後の視野も幅広く考えていらっしやるようです。すべては「できる、できる」から。次は何ができるかな？が新ビジネスに繋がっています。

みんなが当たり前と一緒に働ける世の中をつくる。伊藤さんの今後のビジョンに期待し、私自身も同じ想いでいられるようありたいと思います。

作って、使って、進化する経営指針

～うつ病からの復活！経営指針が教えてくれたこと～

プライアント 株式会社 代表取締役 橋口 久 氏
(佐世保支部)



報告者
長崎浦上支部 橋本 裕次郎

第2分科会は「経営指針」覚悟として「変化する時代への対応」の分科会となりました。橋口さんは、母が経営する保険事務所を継ぐべく佐世保に帰郷して頑張っていました。社員さんと手と力を合わせられず空回りや苦悩の日々でした。そしてうつ病を苦悩の約1年半自宅に引きこもり誰にも会えない日々。そんな中、ある同友会会員の会社の経営指針書(経営計画書)を取り出して、そこから自身の復活、復職、会社での実践となりました。翌年には第一回目の経営計画発表会も実施されています。

橋口さんは、経営指針書は会社のバイブル、経営者の夢のノート、社員の成長アルバムと表現しています。・会社のバイブルと表現しています。・社員の成長アルバムと表現しています。・経営者の夢のノートと目標、やりたいことが叶う。それを会社全体で共有できる。・社員の成長アルバムと社員が主体者となっていく。個の成長。私も去年から経営理念と計画の文化をしました。なぜ作成しようと思ったか？それは、その時売上も頭打ち、仕事のマンネリ化、今後なにをやらばいいかわからなかったからです。なにかが変わると思ひ、作り直しました。経営指針書としてはまだまだ拙くはありますが、今年には目標の3つ(新しい人材の導入、事務所移転、金融機関と繋がる)が叶いました。次は、社員と一緒に作成していきます。

今後、橋口さんは経営指針書と経営計画発表会の普及に努めています。それがミッションだと言っています。経営指針書の作成のお手伝いや質問があったら、橋口さんに連絡してみてください。

また、「変化する時代への対応」として、新しい試みで報告内容への質問を報告中にメールで送信し、回答時にプロジェクトで映し出して答えていくというやり方になりました。大きな理由としては、グループディスカッションの最初の質問の時間を省いてディスカッション時間を長くし、現在のIT化、スマホ文化に対応し活用するということです。結果、数十名の方がメールで質問を送ってくれました。賛否両論とは思いますが、新しく試みたことが成功だったと思います。数年前までは考えられませんでした。今はスマホ文化です。時代は確実に動いています。時代に対応していく覚悟を持つのも、経営者としての資質です。それが問われる時代です。

ダイヤモンドクラブのバッジ贈呈



座長による分科会報告

第1分科会



中尾 由花 会員 (長崎出島支部)

第2分科会



橋本 裕次郎 会員 (長崎浦上支部)

第3分科会



松本 一孝 会員 (長崎浦上支部)

懇親 交流会

●懇親交流会報告

報告者 副全体会 部会長
出口 一隆

分科会、全体会、そして記念講演の感動も冷めやらぬまま、いよいよ皆さんお待ちかねの懇親交流会の始まりです。

今回のテーマは、ずばり、長崎らしく。純心大学ハンドベル同好会 Stellaの皆さんの爽やかな演奏から始まり、岩実行委員長の熱い想いのこもった挨拶へと進んでいきました。そして早速の嬉しいサプライズ。たいへんご多忙中、中村知事が突然駆けつけて下さり、ご来賓代表としてご挨拶を頂戴致しました。一気に会場のボルテージも

で、宴は始まりました。

ロイヤルチェスターホテルさんの美味しいお料理に舌鼓を打つ中、まずご登壇いただいたのが、ダイヤモンドクラブの皆さんです。長崎同友会の発展にご尽力いただいた先輩方に、ダイヤモンドクラブのバッジを贈呈させていただきました。金子ダイヤモンドクラブ会長にご挨拶いただき、参加者全員で皆さんに感謝のメールが送られました。続いては、今回の目玉企画「銀屋町 鯨太鼓」の登場です。迫力満点の演奏に、もってこい！のアンコールも飛び出しました。長崎くんちの雰囲気も少しは味わっていただけたのではないのでしょうか。まだまだパフォーマンスは続



きます、締めはやはりこの人。長崎出島支部が誇る「マジシャンDO」こと佐々田さんのマジックショーです。ステージ上で練り広げられる、信じられないマジックの数々に皆さん釘づけ！好きだった女性の名前が明らかになる会員も出てくるなど、盛り上がりは最高潮に達しました。そして宴はフィナーレへと向かいます。

経営フォーラムを終えて 実行委員長 岩 素子

今回の経営フォーラムは「覚悟！」というテーマで開催しました。覚悟は、記念講演をしていただいた湯澤剛さんの内容から決めました。

私は1年前、関東甲信越青年経営者フォーラムにおいて湯澤さんのお話を拝聴したときに、「長崎の経営者のみなさんにもぜひこの話を聞いてほしい！」と思いました。それは人は覚悟することで、逃げることなく、どんな困難にもぶつかっていく。そう、何事にもあきらめなければ道は拓けるのだと、確信したからです。きっと長崎の皆さんにも勇気を与えることが出来るかと強く感じたのです。

講演を聞かれた皆さんの反応は、「多くの学びがあった」「覚悟することの大切さを知った」「元気になり勇気をもらえた」などお声をいただき、その分懇親交流会も大変賑やかなものになりました。第1分科会では、経営する上で、情熱を持つことの大切さ。第2分科会では、実践の本気の取組。第3分科会では、本当の意味で社員を大切にすることはどうなのか？どういった現象が起きたのか。三分

まだまだ盛り上がりたいたところでしたが、楽しい時間も終わりとなりました。最後は、ダイヤモンドクラブの金子会長に再度ご登壇いただき、万歳三唱にて閉会となりました。

長崎らしさをテーマに企画しました今回の懇親交流会。ご満足いただけたか心配でしたが、あの盛り上がりで楽しかったと皆様の声を頂戴し、全体会部会実行委員一同、ホッと胸をなでおろしている次第です。

ご協力いただいたすべての方々に心から感謝いたします。ありがとうございます。

科会の皆さんも、情熱を持って語っていただき、感動された方も多かったようです。

尊敬する松下幸之助さんの言葉に、こんな一節があります。「どんなことから、どんな人から、謙虚に素直に学びたい。すべてに学ぶ心があつて、はじめて新しい知恵も生まれてくる。よき知恵も生まれてくる。学ぶ心が繁栄へのまず第一歩なのである」まさにこの言葉は、同友会で学びを生かすことの大切さを語っているようです。今こそ、同友会の三つの目的「よい会社をつくる」「よい経営者になる」「よい経営環境をつくる」を実現するために、経営フォーラムの学びを今後の経営に生かされ、ますますご発展されますよう、心より祈念しています。

ご参加いただいた皆さん、実行委員の皆さん、事務局の皆さん本当にありがとうございました。



第24回 経営フォーラム 2017 in Nagasaki ご来賓の皆様

(順不同)

- | | | | |
|------------------------|---------|--------------------|---------|
| 長崎県 知事 | 中村 法道 様 | 日本政策金融公庫 佐世保支店 支店長 | 長瀬 昭一 様 |
| 衆議院議員 加藤寛治事務所 秘書 | 詫間 英介 様 | 商工組合中央金庫 長崎支店 支店長 | 増田 利幸 様 |
| 衆議院議員 北村誠吾事務所 所長 | 嘉藤 保則 様 | 十八銀行 本店営業部 副部長 | 伊藤 雅博 様 |
| 前 衆議院議員 高木義明事務所 秘書 | 平山 繁雄 様 | 親和銀行 取締役常務執行役員 | 石野 和生 様 |
| 長崎県 産業労働部 部長 | 平田 修三 様 | 長崎国際大学 地域連携室 | 栗原 邦夫 様 |
| 長崎市 商工部長 | 片岡 研之 様 | NBC長崎放送 常務取締役 | 藤井 潤 様 |
| 大村市 企画政策部長 | 山下健一郎 様 | NCC長崎文化放送 部長 | 山本 栄治 様 |
| 長崎県中小企業団体中央会 専務理事 | 江口 道信 様 | 長崎県議会議員 自由民主党・県民会議 | 三好 徳明 様 |
| 日本政策金融公庫 長崎支店 支店長 | 鶴丸 真介 様 | 長崎県議会議員 自由民主党・県民会議 | 高比良 元 様 |
| 日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業統轄 | 神庭 義明 様 | 長崎県議会議員 自由民主党・県民会議 | 吉村 洋 様 |